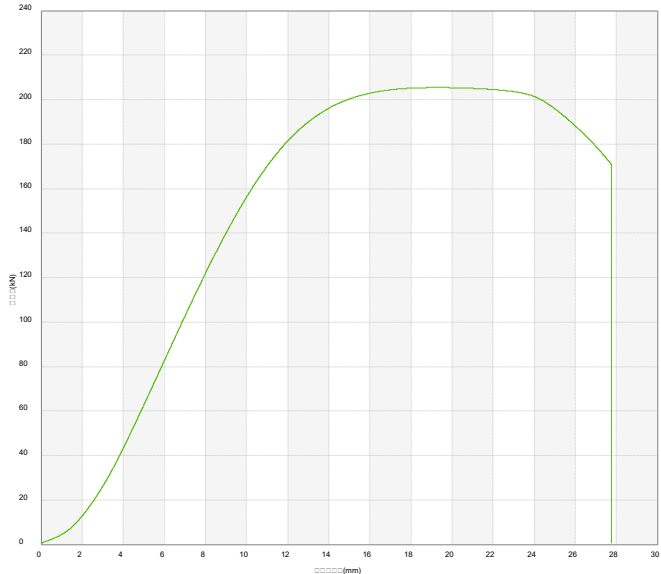



機械構造用炭素鋼鋼材の引張強度

事例	機械構造用炭素鋼の引張強さを測定しました。
試験内容 と結果	<p>材料試験機を用いることによって、金属材料や工業製品の機械的強度(引張強さや圧縮強さ)を測定することができ、測定結果はその材料が日本産業規格(JIS)に適合しているのかの判断材料になります。</p> <p>図1は、機械構造用炭素鋼鋼材の引張強さの測定結果です。最大引張荷重は205.4kNであり、その時のクロスヘッド移動量は19.3mmでした。また、試験片形状より、引張強さは921MPaであることが分かりました。治具をφ100mmの圧縮治具へ交換することにより圧縮試験もできます。</p>  <p>図1 機械構造用炭素鋼試験片の試験カーストロック線図</p>
使用装置	<p>オートグラフ材料試験機（令和5年度電源立地地域対策交付金）</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>メーカー名:(株)島津製作所 型式:オートグラフ AGX-300kNV2 【機器の概要】 ロードセル最大荷重:300kN つかみ歯・平板用:板厚 0 ~ 25mm ・丸棒用:φ4 ~ 30mm 圧縮試験用圧盤:φ100mm T溝付き定盤サイズ:500mm×500mm</p> </div>
使用料	オートグラフ材料試験機 3,900円/時間

※試験片はつかみ歯長さの8割以上を掴む必要があります。
 試験片の形状については事前にお問い合わせください。
 機器使用の際は、保護具を着用していただきます。